



陸上輸送から鉄道輸送（モーダルシフト）へ。

■ 環境（モーダルシフト）

改正省エネ法が平成18年4月より施行されました。特に輸送量の多い荷主様（特定荷主）には、特別な義務がかかります。弊社では平成19年4月より国土交通省推進事業（グリーン物流パートナーシップのモデル事業社）として認定され東京～大阪間の幹線輸送の一部をJR仕様31ft（大型車と同等サイズ）私有冷凍・冷蔵コンテナを導入し、トラック輸送から鉄道輸送に移行しました。長距離幹線輸送における環境負荷低減、CO2排出量削減及び、交通渋滞の緩和に貢献し効率的な省エネ輸送が可能となりました。また、JR貨物ターミナル駅付近に東京は川崎に、大阪には舞洲に冷凍倉庫施設を設け、仕分け、保管管理を行い、二大都市間の輸送及び圏内の配送をしております。

■ 省エネ効果 ※積載量10,000kgの場合

東京（夕）→安治川口

	トラック輸送	鉄道輸送	削減量	削減率
輸送距離	559.8km	559.8km	0km	—
エネルギー使用量	7,315.3MJ	2,748.6MJ	4,566.7MJ	62.4%
CO2排出量	0.502t-CO2	0.123t-CO2	0.379t-CO2	75.4%

梅田→東京（夕）

	トラック輸送	鉄道輸送	削減量	削減率
輸送距離	553.9km	553.9km	0km	—
エネルギー使用量	7,235.1MJ	2,719.6MJ	4,515.5MJ	62.4%
CO2排出量	0.496t-CO2	0.122t-CO2	0.374t-CO2	75.4%

東京

大阪



Thank you for your visit.



株式会社 廣川運送